

エマージェンシーカード（救急災害情報カード）

マルファン症候群の患者さんや類縁疾患の患者さんの中には、一般の方に比べ、大動脈解離が起きるリスクが高く、万が一に備えておくことが大切です。大動脈解離はまれな疾患ではありません。


しかし、一般的には高齢者が多いため、マルファン症候群のように若い人が倒れた時に「大動脈解離だ！」となかなか気づかれず、救命措置が遅れてしまうことがあります。倒れた時に、自分がしゃべられる状況とは限らず、伝えたいことを伝えられない場合もあります。

また、生活で気をつけるのは大動脈解離だけではありません。災害や事故などの際にも、救急現場においては、傷病者の医療情報や緊急連絡先などを把握することが何よりも重要だといわれています。避難場所や家族との決まりごとなどを日頃から話し合い、医療情報や緊急連絡先をカードに記入して、常に携帯しておきましょう。

- ✳️下記カードの部分を切り取り、点線で折り曲げると、免許証程度の大きさになります。
- ✳️記載内容は、定期的に確認し、更新することをお勧めします。
- ✳️このカードには多くの個人情報に記載されます。ご自身の判断と責任においてご利用ください。

NPO 法人日本マルファン協会 www.marfan.jp

山折り↓

Emergency Card - 救急救命カード -		緊急連絡先		
 <p>特定非営利活動法人 (NPO 法人) 日本マルファン協会 Japan Marfan Association</p> <p>私は急性大動脈解離が起きる高リスク者です！ (病名：)</p> <p>救急・消防 119 警察 110</p>		ふりがな氏名	電話番号	続柄
		ふりがな氏名	電話番号	続柄
		ふりがな氏名	電話番号	続柄
ローマ字表記		災害時の避難場所		
氏名	血液型	地震が発生した時の一時避難所		
	型 (+ / -)	津波が発生した場合の避難所		
性別 女性・男性 生年月日 年 月 日		家族の決まりごと		
住所 〒 -		☎️ 災害伝言ダイヤル 171		
電話 () -		電話がつながりにくい場合の安否確認などに利用できます。「171」をダイヤルし、音声案内にしたがって伝言を録音・再生してください。		
⚠️ 伝えたいこと (必要な援助・既往歴など)		📣 救急車・消防車の呼び方		
かかりつけ病院		1. 局番なしの119へ電話する		
診察科	担当医	2. あわてず・ゆっくり・はっきりと話す		
住所		3. 「救急車をお願いします！」		
電話番号 () -		4. いつ、どこで、誰(何人、老若男女など)がどうしたか、どんな状態なのか伝える		
お薬名・種類	1回の量()1日()回	5. 名前・住所・電話番号を伝える。救急車が行く住所がわからないときは、目標物を伝える		
	1回の量()1日()回	6. 救急車が到着するまでの手当を聞く		
アレルギー 無・有()		このカードには個人情報に記載されますのでご自身の判断と責任においてご利用ください。記載内容が古くならないように、毎年誕生日に更新しましょう。		
日頃の血圧 /		NPO 法人日本マルファン協会		
私は、救急隊員や医療機関にカードの情報を伝えることに同意します。 カード作成・同意日 年 月 日				
署名				

※内服薬が記入しきれない場合は、ご自身で紙を追加ください